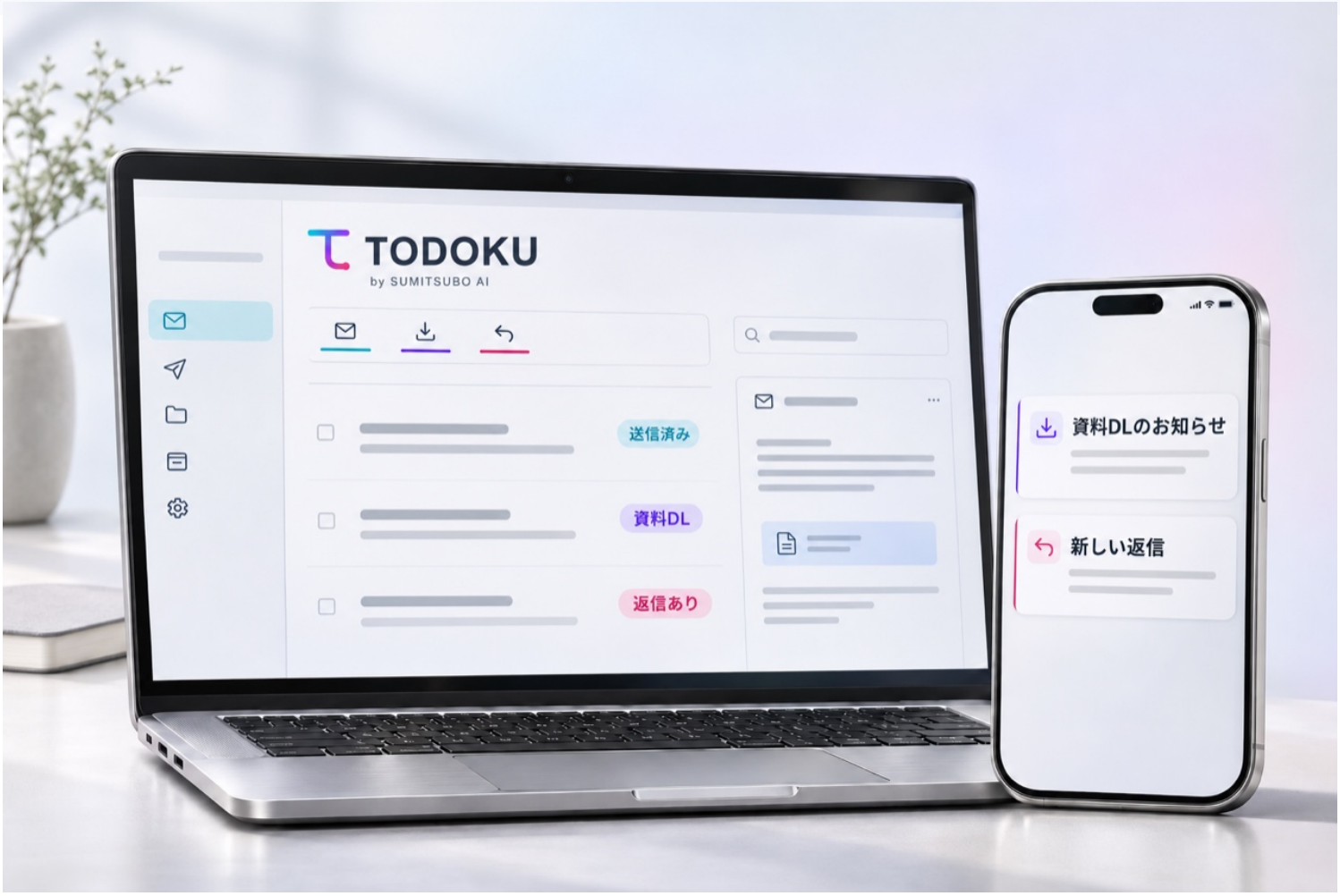
TODOKU
by SUMITSUBO AI

SALES AUTOMATION & RESPONSE INSIGHT

送る手間は、AIに。
反応を、次の営業に。

営業メールの自動送信・反応管理
LINEでも、ブラウザーでも。反応を、次の営業へ。



画面・通知は接続後の利用イメージです（AI生成）。

サービス紹介

2026.11

01 / THE CHALLENGE

メール営業を、
送って終わりにしない。

毎日の送信作業と、送った後の見えにくさ。
TODOKUは、メール営業のこの2つの課題をつなげて見直します。

01

これまでの悩み

送るたびに、手間がかかる

宛先の確認、メールの準備、送信の繰り返し。日々の作業が負担になる。

TODOKUでできること

配信条件に沿って自動送信

商材・配信先・配信条件を設定し、送信作業を自動化します。

02

これまでの悩み

興味を持たれたか、わからない

送信しただけでは、その先の反応が見えず、誰に対応すべきか迷う。

TODOKUでできること

宛先ごとの反応を確認

資料リンクへのアクセス・資料DL・返信をまとめて確認します。

03

これまでの悩み

改善する場所が、わからない

商材の伝え方か、資料の内容か。反応がない理由を考える材料が少ない。

TODOKUでできること

見直すヒントを得る

反応の止まった段階を見て、次に試す改善やフォローを考えます。

送信の手間を減らし、
反応に合わせた営業へ。

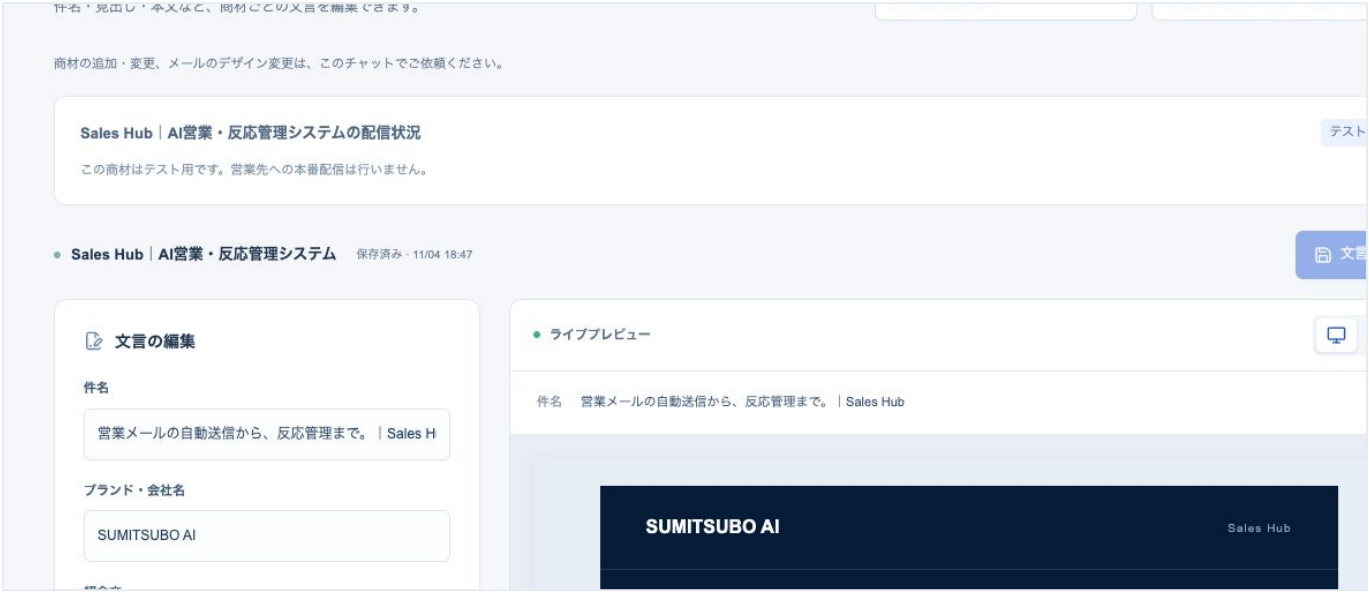
02 / LIVE SCREENS

実際の管理画面

反応の段階を、商材ごとに確認



文言を編集し、その場でプレビュー



実際の開発環境を撮影した画面です。画面内には旧名称「Sales Hub」を含みます。表示数値はテスト時点のもので、顧客情報が写らない範囲を掲載しています。

03 / HOW IT WORKS

送信から、次の対応まで。
ひとつの流れでつなぐ。

メール内の個別リンクを使い、反応を商材・宛先に紐づけます。

01

メールを自動で送信

設定した配信先・配信条件に沿って送信。宛先・件名・本文・送信日時を記録します。

02

資料ページへのアクセスを記録

宛先ごとの資料リンクから、どの商材の案内に反応があったかを確認します。

03

資料DLの操作を記録

受信者はログイン不要の資料ページから取得。資料取得の要求を、宛先と紐づけて残します。

04

メールの返信を確認

接続した送信元メールから、管理対象メールへの返信を設定に応じて取り込みます。

05

担当者が、次の対話へ

反応のあった相手を確認し、連絡・提案・質問への対応を進めます。担当者や状況も記録できます。

記録の読み方

アクセスや取得要求の記録は、メールの既読・PDFの保存や読了を示すものではありません。転送されたリンクの操作や、自動のセキュリティ検査が記録される場合もあります。

04 / IMPROVE YOUR SALES

商材か、資料か。
見直す手がかりを、反応から。

反応を段階に分けて見ると、次に試す改善が考えやすくなります。

記録から見える状況	見直す候補	次に試すこと
アクセスが少ない	配信先と商材の相性 件名・メール本文 リンクの見せ方	対象を絞る、件名や案内文の表現を変えるなど、届け方を見直す。
アクセスはあるが、DLが少ない	資料紹介ページの説明 入力の負担 取得ボタンまでの導線	資料を得るメリットを短く示し、取得しやすい導線を試す。
DL後の返信が少ない	商材・提案条件の伝え方 資料のわかりやすさ 連絡のタイミング	資料や提案内容を見直し、相手の状況に合わせてフォローする。

記録は、改善の仮説を立てる材料です。

商材や資料の良し悪し、相手の関心や離脱理由は、記録だけでは断定できません。実際の返信・会話と合わせて、改善を進めます。

05 / YOUR WORKFLOW

送る・記録するのはAI。
次の対話は、担当者が。

送信後の情報を共有し、担当者は反応のあった相手への対応に集中できます。

AI / SYSTEM

送信と記録を担当

- 条件に沿ったメール送信
- 送信内容・宛先・日時の記録
- アクセス・資料DL・返信の整理

YOUR TEAM

顧客との対話を担当

- 反応のあった相手を確認
- 質問への返答・相談・提案
- 担当者・対応状況・メモの記録

クライアント・商材ごとに整理

クライアントの情報は分け、全体管理者は各社の状況を俯瞰できます。

商材ごとに配信状況を管理

テスト・配信・停止など、商材ごとの状態を確認して運用します。

必要な反応を、担当者へ共有

管理画面での確認に加え、LINE通知も接続・通知先の設定後に利用できます。

返信の自動取込には、メール接続と定期実行の設定が必要です。通知する項目・通知先・頻度は、運用に合わせて設定します。

06 / LINE NOTIFICATIONS

反応のお知らせを、いつものLINEへ。

接続設定後は、管理画面を開いていなくても、資料DLや返信の取込を
登録済みの担当者・通常LINEグループへ通知できます。

SUMITSUBO AI

通知内容の一例

資料DLのお知らせ

【TODOKU】
資料のダウンロードがありました。

商材：サービス紹介
会社名：サンプル企業（表示例）
氏名：担当者（表示例）
メール：sample@example.com
反応日時：受信した日時

メール返信のお知らせ

営業メールへの返信を
取り込みました。

資料DL・返信を知らせる

誰が、どの商材に反応したか。会社名・氏名・メールアドレス・反応日時などを、通知で確認できます。

LINEだけで反応を確認

通知を見るだけなら管理画面へのログインは不要です。
対応履歴の確認・変更は、管理画面で行います。

担当者やグループへ共有

個人トークや、登録した通常LINEグループへ。通知先を商材と紐づけ、担当チームへ共有します。

通知にはLINE連携・通知先の登録が必要です。返信は取り込み後に通知します。左の内容は表示例で、実際の受信画面ではありません。未登録の会社名・氏名は「未登録」と通知されます。

07 / CREATE WITH LINE

LINEで話して、
メールづくりを進める。

文章を整える、デザインを変える、仕上がりを確認する。
専門用語を覚えず、いつもの言葉で希望を伝えられます。

TODOKU

LINEでの操作例（サンプル）

営業メールを作って。
送信の手間を減らせる点を伝えて。

件名と本文が届いたら、
気になるところをそのまま修正。

文章はそのまま。白背景で、
写真を上に、ボタンを青に。

プレビューで確認して、
この内容で決定。

01

文章から、ひと言で

何を・誰に・何を伝えたいか。希望を伝えると、件名と本文を生成します。

02

見た目も、好みに合わせて

自由な指示、入力例、デザイン見本。好きな方法を選び、変更後のプレビューを確認します。

03

決定か、編集かを選ぶ

仕上がりを見ながら、この内容で決めるか、必要なところを編集するかを選べます。

現在、LINEでの文章生成・デザイン修正・プレビュー確認は練習機能として利用できます。実メール送信は行いません。本番配信の実行・顧客対応の全操作をLINEだけで完結する機能は、現在未対応です。

08 / CHOOSE YOUR WORKSPACE

LINEでも。
LINE以外でも。

手軽な指示はLINEから。詳しい確認や日々の管理は、
ブラウザー・パソコン・スマホから。使う場面に合わせて選べます。

LINE

話して、メールを整える

文章生成・デザイン修正・プレビュー確認。資料DLや返信の通知も、連携設定後に受け取れます。

WEB BROWSER

ブラウザーで、まとめて確認

メールの文言編集、配信内容や資料への反応の確認、担当者・対応状況の管理に利用できます。

DESKTOP

パソコンから、じっくり運用

Mac・Windows向けのアプリを用意。クライアント用と全体管理者用を分けて利用します。

MOBILE

外出先でも、状況を確認

iPhone・Androidはホーム画面に追加するWebアプリ形式。スマホのアイコンから開けます。

使い慣れた場所から、営業を進める。

LINEの利用は必須ではありません。Web・アプリの管理機能は、ログインして利用できます。

09 / GET STARTED

まずは、1商材のテストから。

商材・送信元・配信条件を確認し、
実際の送信と反応の記録をテストしてから、運用へ進めます。

01 **商材と伝えたい内容を共有**

商材の特徴・資料・対象としたい相手を確認します。

02 **メールと配信条件を準備**

デザイン・文言・送信元・配信先・頻度などを設定します。

03 **実際の流れをテスト**

テストメールで、送信・資料取得・返信・通知を確認します。

04 **運用しながら、見直す**

配信結果と相手の反応を見て、メールや資料を改善します。

メール・公式LINEで相談する

料金・導入範囲・接続方法は、ご相談内容に合わせてご案内します。

公式LINEで相談する

SUMITSUBO AI / @051eouwd

info@sumitsuboai.com

友だち追加・ご相談

株式会社SUMITSUBO AI

sumitsuboai.com